

リーディングDXスクール事業【実践事例】

熊本市立川上小学校（熊本県）

【取組内容④】 単元構想図・本時構想図の活用

「単元構想図」と「本時構想図」を用いました
授業研究会では従来のような指導案ではなく、

～単元構想図～

単元名(時数) 学級名・教科等

本単元でのどのような活動や学びを通して、単元終了時にはどのような児童の姿をイメージしているか。

単元終了時の児童の姿を見据えた、単元を貫く問い

本単元の指導内容等に関わる児童の実態について

単元の構成。各時間の内容について簡単に記述する。また、単元のまとまりごとに色を変えて示す。挿絵や資料等、本時の内容を補足する者があれば近くに配置する。

評価規準

【先生方の意見】

- Keynoteで作成しているため、写真や図の入れ込みが容易だった
- 文字が羅列されている指導案よりも見やすかった
- 目指すところとその道筋が明確で、分かりやすかった

～本時構想図～

単元名(時数) 学級名・教科等 日時・場所・授業者

本時の目標

本時の流れ。
白枠は活動内容、
青枠は留意点、
緑枠は評価を記す。
(従前の指導案にあったような発問や児童の反応については記さない。)

前述のように、授業の見どころ(従前で言えば指導観にあたることや、実態を踏まえて授業者が本時のポイントと考える点)について記述する。

本時構想図を作り変えて、リアルタイムで授業記録していきました。指導構想図と比べて見たり、写真を入れたりできますので、授業の様子が分かりやすくなりました！PDF化してすぐに共有し、これを見ながら研究会を進めていきました。

1127 授業の流れ